
彼とは散らかった部屋の中で

ハイキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

彼とは散らかった部屋の中で

【Nコード】

N5458J

【作者名】

ハイキ

【あらすじ】

部屋の状態はその人の性格を表すと言っけど、この人を見る限りでは、ここはまるで別人の部屋のようにだった。

彼とは散らかった部屋の中で出会った。

部屋の状態はその人の性格を表すとか言うけど、この人を見る限りでは、ここはまるで別人の部屋のようなだった。

彼は白いワイシャツに地味な色のネクタイ、それから地味な色のスーツを着て、この混沌とした部屋に置かれたひとつっきりの椅子にただじっとに座っている。僕は部屋を見回した。

この部屋には水道があるけど、蛇口が錆びているしバケツに張られた水は濁っている。とってつけたような鏡は四隅から曇って、あまり使い物にはならなそうだ。

食器棚には食器のかわりにたくさんの瓶がならんでいた。食器棚に近づいて、扉をあける。瓶の中身はよくわからない。ゴムでとめられた透明のセロファンを指で破ってドロドロの中身をすくう。ジャムらしき濁った半固体に、たくさんの画鋏が雑じっていた。さすがにこれは食べたくない。瓶を戻してから手をきれいに拭いて、彼のほうを振り向く。

彼の目の前に置かれたテーブルの上には錠剤やカプセルがたくさん転がっていて、それから水が入っていたであろうコップ。錠剤の入っていた瓶はいくつか床に落ちて錠剤をばら撒いている。その錠剤を食べたのか、ネズミが一匹死んでいた。床には山積みの本。絵本でも小説でもいい。あとは書類。とにかくたくさんある。埃まみれのソファアの上にだって書類が積まれてる。どかしてみたらクレヨンが出てきた。でも画用紙が見あたらない。

床に積まれた本に足をつまづいて、山がくずれ。だけど、彼は動かない。

仕方がないので、僕は散らかった部屋を出た。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5458j/>

彼とは散らかった部屋の中で

2011年10月6日09時59分発行